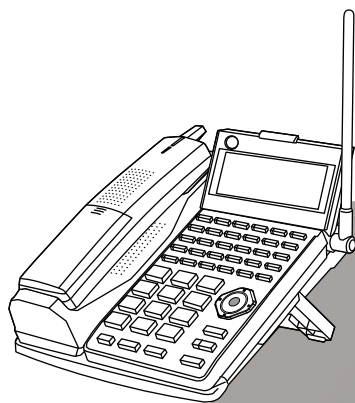


saxa

HM700Std/HM700Pro
工事マニュアル
ビジネスコミュニケーションシステム

AGREA
HM700Ⅱ

TD710/TD720
CL720
WS700
TD618
電話機用



お願い

本マニュアルは、主装置に同梱しておりません。
設置工事の際は、本マニュアルを持参してください。




●はじめに

この工事マニュアルには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を表しています。



その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

本書は大切に保存し、必要などきにお読みください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を表しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

■次の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	この表示は、してはいけない「禁止」内容を表しています。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

●本製品は絶対改造しないでください。記載されていない改造、回路変更などを行った場合、当社は一切の責任を負いません。

◆接続可能な主装置バージョンについて

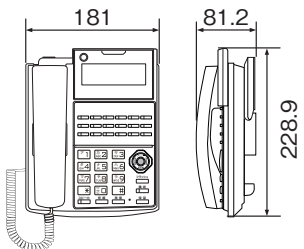
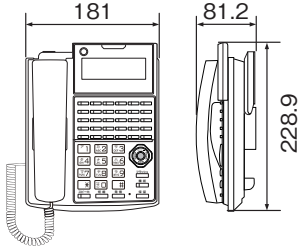
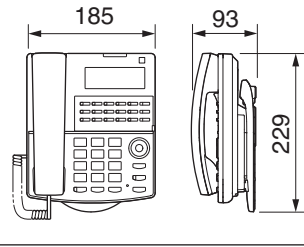
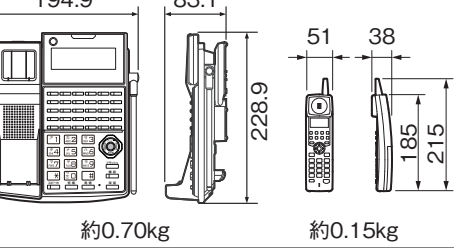
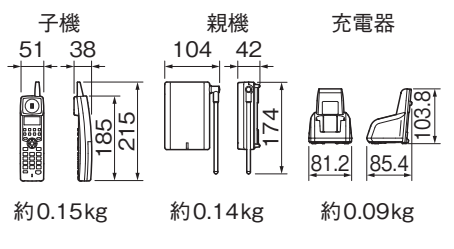
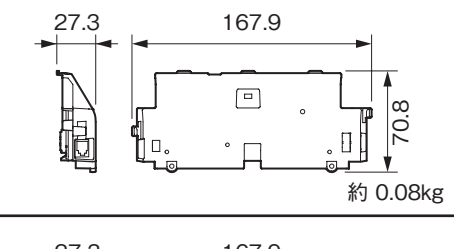
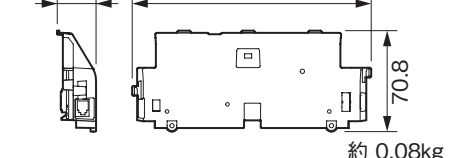
TD710、TD720、CL720、WS700 電話機は、Agrea HM700 II の Ver2.10 以降の主装置に接続可能です。

目次

ページ

1	構成	1
2	工事の前に	5
	(1) 工事上の注意	5
	(2) 設置上の注意	6
	(3) 配線・接続上の注意	7
	(4) CL 電話機、WSb 電話機の設置上の注意	8
	(5) 無線に関する注意	8
3	電話機の工事	9
	(1) 停電ユニットの取り付け方法【TD710、TD720 専用】	9
	(2) ISDN 停電用電話機（停電ユニット I 装着電話機）の接続方法	11
	(3) アナログ停電用電話機（停電ユニット A 装着電話機）の接続方法	13
	(4) コールスピーカの接続方法	15
	(5) 電話機の角度調整方法	16
	(6) 電話機のパネルとシートの交換方法	18
4	電話機の壁掛取り付け方法	19
	(1) 多機能電話機 (TD710、TD720)、カールコードレス電話機 (CL)	19
	(2) 多機能電話機 (TD618)	20
	(3) Bluetooth コードレス電話機 (WSb) 親機	21
	(4) Bluetooth コードレス電話機 (WSb) 充電器	22
5	カールコードレス電話機 (CL) の接続	23
	(1) 電波干渉により CL 電話機にノイズが入る場合 (AFH 使用 CH 設定)	26
	(2) CL 子機待機中に省電力モードで使用する場合 (SNIFF 設定)	27
6	Bluetooth コードレス電話機 (WSb) の接続	28
	(1) 電波干渉により WSb 電話機にノイズが入る場合 (AFH 使用 CH 設定)	31
	(2) WSb 子機待機中に省電力モードで使用する場合 (SNIFF 設定)	32

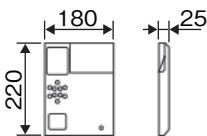
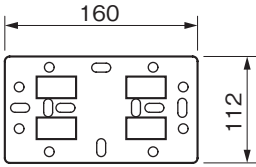
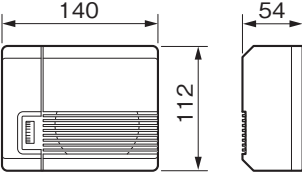
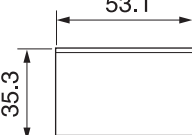
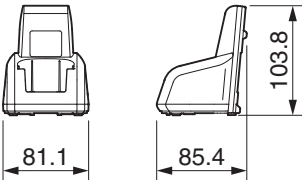
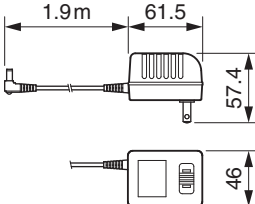
1 構成品

品名	外観寸法 (mm)	数量		備考
		Std	Pro	
電話機の種類	多機能電話機 (標準 18 ボタン) TD710(W) TD710(K) 	最大合計 8 ※	最大合計 32 ※	●LCD バックライト、人感センサ、ハンズフリー通話機能付き電話機 [付属品] 電話機コード (2m) 1
	多機能電話機 (標準 30 ボタン) TD720(W) TD720(K) 			●LCD バックライト、人感センサ、ハンズフリー通話機能付き電話機 [付属品] 電話機コード (2m) 1
	多機能電話機 (標準 18 ボタン) TD618(W) TD618(K) 			●LCD バックライト、ハンズフリー通話機能付き電話機 [付属品] 電話機コード (2m) 1
	カールコードレス電話機 (CL) CL720(W) 	最大 4	最大 8	●LCD バックライト、人感センサ、ハンズフリー通話機能付きカールコードレス電話機 [付属品] 電池パック 1 注意シート 1 機能シール 1 電話機コード (2m) 1 電池カバー 1
	Bluetooth コードレス電話機 (WSb) WS700(W) WS700(K) 	最大 7		●LCD バックライト、ハンズフリー通話機能付き Bluetooth コードレス電話機 [付属品] 電池パック 1 AC アダプタ 1 注意シート 1 機能シール 1 電話機コード (2m) 1 ストップパ 2 電池カバー 1
	停電ユニット I ADI605(W) 	最大 2	最大 6	●TD710、TD720 電話機の停電用ユニット 1 ユニットで ISDN を 1 回線収容可能 [付属品] 停電用切替 BOX II 1 停電表示用ラベル 1 ケーブルタイ PLT1M 1 ケーブルタイ PRT-4S 1 ネジ (2.6 × 8) 2
	停電ユニット A ADA605(W) 	最大 4	最大 12	●TD710、TD720 電話機の停電用ユニット 1 ユニットでアナログ局線を 1 回線収容可能 [付属品] 停電用切替 BOX II 1 停電表示用ラベル 1 ケーブルタイ PLT1M 1 ケーブルタイ PRT-4S 1 ネジ (2.6 × 8) 2

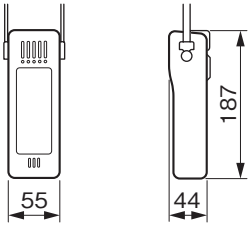
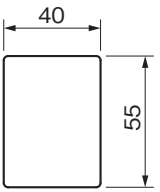
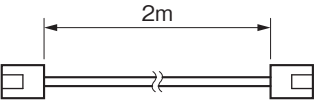
※このシステムに接続できるすべての電話機の合計です。

品名	外観寸法 (mm)	対応電話機	備考
オートダイヤル ボタン用カード (18ボタン) オートダ イヤルボタン用カード / S-W		TD710	● TD710 電話機用プリンタシート (電話機色ホワイト用) 1袋 10枚入り
オートダイヤル ボタン用カード (18ボタン) オートダ イヤルボタン用カード / S-K			● TD710 電話機用プリンタシート (電話機色ブラック用) 1袋 10枚入り
オートダイヤル ボタン用カード (30ボタン) オートダ イヤルボタン用カード -W		TD720 CL720	● TD710、CL720 電話機用プリンタ シート (電話機色ホワイト用) 1袋 10枚入り
オートダイヤル ボタン用カード (30ボタン) オートダ イヤルボタン用カード -K		TD720	● TD720 電話機用プリンタシート (電話機色ブラック用) 1袋 10枚入り
SHEET(WHITE) (TD618)		TD618	● TD618 電話機用プリンタシート (電話機色ホワイト用) 1袋 10枚入り
SHEET(BLACK) (TD618)			● TD618 電話機用プリンタシート (電話機色ブラック用) 1袋 10枚入り
オートダイヤル用 プリントシート (18ボタン) プリンタ シート		TD710	● TD710 電話機のオートダイヤルボタン部 に挿入するプリンタ印字可能なシート ※ 1シートで4台分です。
オートダイヤル用 プリントシート (30ボタン) プリンタ シート		TD720 CL720	● TD720、CL720 電話機のオートダイヤル ボタン部に挿入するプリンタ印字可能な シート ※ 1シートで4台分です。
TD618用 プリントシート		TD618	● TD618 電話機のオートダイヤルボタン部 に挿入するプリンタ印字可能なシート ※ 1シートで4台分です。

オプション (別売品)

品名	外観寸法 (mm)	対応電話機	備考
多機能電話機用 防塵カバー タノデンキヨ ボウジンカバー -01A		TD710 TD720	● TD710、TD720 電話機用防塵カバー 1袋3枚入り
電話機 壁掛取付用品 カカヨビン WU-08		TD710 TD720 TD618 CL720	● TD710、TD720、TD618、CL720 電話機をスイッチボックスや柱に取り付ける ときに使用 [付属品] ストッパ・・・・・・・・・・ 2 ゴム足・・・・・・・・・・ 4 木ネジ (3.8 × 32) ・・・・・・ 2 取扱説明書・・・・・・・・・・ 1
コールスピーカ BS-191		TD710 TD720 TD618 CL720	● TD710、TD720、TD618、CL720電話機に 接続するとスピーカから出る音が拡声さ れます。 ページングとしても使用可能 ※株式会社ノボル電機製作所製
電池パック (CL/WS 子機用) デンチパック BP3711L-A		CL720 WS700	● CL720子機、WS700子機用電池パック
Bluetooth コード レス用充電器 BT コードレスジュテ ンキ (コ) BT コードレスジュテ ンキ (カ)		WS700	● WS700子機用充電台 [付属品] ストッパ・・・・・・・・・・ 1
Bluetooth コード レス用 AC アダ プタ AC アダプタ (SS-920L)		WS700	● WS700子機充電台用 AC アダプタ

オプション
(別売品)

品名		外観寸法 (mm)	対応電話機	備考
オプション (別売品)	キャリング ケース CC500		WS700	● WS700子機の持ち運び用
	端子箱 MJ-4S(M)		—	● 個用ネジ端子・モジュラー 色：白色
	ラインコード 6-6		—	● 6芯モジュラーコード ※ コールスピーカ使用時には、ツイストペアのラインコード(モジュラコード)を推奨します。

2 工事の前に

▶ (1) 工事上の注意

⚠ 危険

- ❗ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチを OFF にし、電源コードを電源コンセント (AC100V) から抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。
- ⊘ CL 子機・WSb 子機の電池パックは絶対にショートさせないでください。爆発・発火の危険があります。
- ⊘ 濡れた手で電源プラグの抜き差し、オプションユニットの取り付け・配線工事はしないでください。感電する危険があります。

⚠ 警告

- ⊘ 指定された電圧以外の電源を使用しないでください。感電・発火・故障の危険があります。
- ⊘ プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。
- ❗ WSb 充電器の AC アダプタは、専用のものを使用してください。
- ⊘ WSb 充電器の AC アダプタを他の用途に利用しないでください。
- ⊘ 電源延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。発熱・発火する恐れがあります。
- ❗ 電源プラグを電源コンセント (AC100V) に差し込む場合は、確実に根元まで差し込んでください。
- ⊘ 装置の開口部から内部にドライバなどの金属類を差し込まないでください。また、ネジなどを落とさないでください。

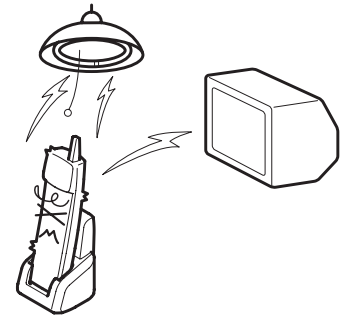
⚠ 注意

- ❗ 漏電による感電などを避けるため、アース線 (D 種接地：接地抵抗 100Ω 以下) は必ず接続してください。
- ⊘ 電源コードの上に重いものをのせないでください。
- ⊘ 熱器具の近くに電源コードを配置しないでください。
- ❗ 電源プラグは必ずプラグ本体を持って抜いてください。
- ⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因となります。
- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重みに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因となります。
- ⊘ 油煙や湯気の当たる場所、湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⊘ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⊘ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

▶ (2) 設置上の注意

安定した場所に設置し、次のようなところには設置しないでください。

- ① 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度の上がる場所。(40℃以上)
- ② 著しく温度が下がる場所。(0℃以下)
(CL 電話機、WSb 電話機を使用時は、5℃以下に温度が下がる場所)
- ③ 湿度が高い場所、水や油がかかる場所。
- ④ ホコリが多い場所。
- ⑤ テレビ、ラジオなどに近い場所。
(受信障害の原因になることがあります。2m 以上離して設置してください)
- ⑥ 電気雑音を受けやすい場所。
(通話に雑音が入ったり、使用できなくなることがあります)
 - OA 機器、テレビ、電気コタツ、蛍光灯、工作機械などの近く。
 - 放送局や無線局 (アマチュア無線、CB 無線) などの近く。
 - 車やオートバイが近くを通ったとき。
- ⑦ ハンズフリー通話をする電話機は、次のような場所を避けてください。
 - 周囲の騒音が大きい場所。
 - 音が反響しやすい場所。



ご注意

- 電源は、エアコン、工作機械、OA 機器と共用する電源コンセントを使用しないでください。
- 電源の延長コードは使用しないでください。
(発熱・発火の危険があります)
- 電源は AC100V ± 10V 50/60Hz 以外の電源コンセントに接続しないでください。
(火災・感電・故障の原因となります)

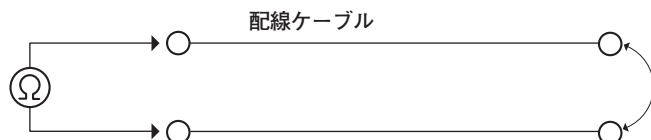
▶ (3) 配線・接続上の注意

※配線工事をするときは、主装置の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードを電源コンセント (AC100V) から抜いてください。

※何も接続されていない配線ケーブルをコネクタに接続しないでください。

- ① 本装置のアナログ局線ユニットの直流抵抗は 285Ω です。本装置と線路抵抗の合計が 1700Ω 以下で使用してください。
- ② 本装置のデジタル局線ユニットの直流抵抗は 750Ω です。本装置と線路抵抗の合計が 1560Ω 以下で使用してください。
- ③ 配線は必ず電子ボタン電話機用ケーブルを使用してください。
ETI ケーブル (沖電線) ICT ケーブル (富士電線)
- ④ 主装置と多機能電話機など (電話機コードを含む) までの許容ループ抵抗は 20Ω 以下です。(2線ループ)

■ 2線ループ



■ 配線ケーブルの芯線径と配線距離

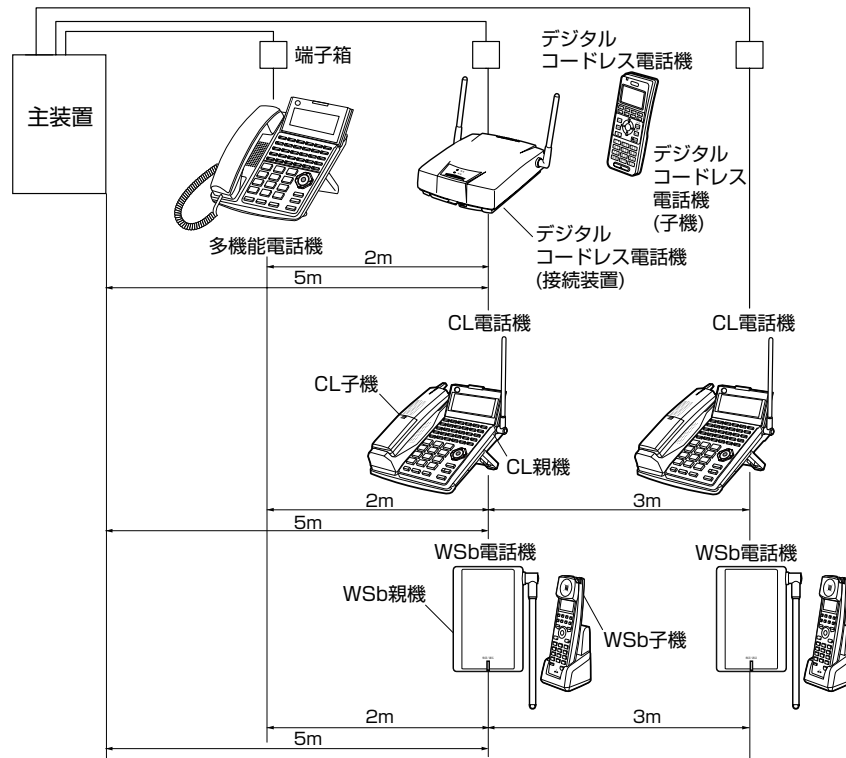
ループ抵抗の最大値	φ 0.4mm	φ 0.5mm	φ 0.65mm
20 Ω	68m	107m	177m

※電話機コード (2m) のループ抵抗は約 5 Ω。

- ⑤ 配線が屋外に及ぶ場合は、両端に保安装置を取り付けてください。
- ⑥ 屋外配線を行う場合のケーブルは、架線用 (屋外) 配線ケーブルを使用するか屋外用カバーをかぶせてください。
架空用シールド付配線ケーブルを使用するときは、大地アースをとってください。
- ⑦ 電力線、テレビアンテナ線および FM アンテナ線との並行配線は避けてください。
- ⑧ 配線ケーブルをステップルで強くとめないでください。配線がショートすることがあります。
- ⑨ ジュウタンの下への配線は避けてください。
- ⑩ 机やロッカーなどで、配線ケーブルをはさまないでください。
- ⑪ 床上配線をして踏まれる恐れがある場合は、ワイヤプロテクタなどにより保護してください。

▶ (4) CL 電話機、WSb 電話機の設置上の注意

- ① CL 親機、WSb 親機は主装置から 5 m 以上、多機能電話機から 2 m 以上、他の親機または接続装置から 3 m 以上離して設置してください。
(通話中に雑音が入ったり、着信ができなくなることがあります)



- ② CL 親機、WSb 親機を設置する場合は、天井および両側面の壁から 15cm 以上離してください。
 ③ 高周波を発生する機械設備のある場所には設置しないでください。
 ④ ラジオ・テレビ・ファクシミリ (FAX)・複写機 (コピー機) などから 2m 以上離して設置してください。
 ⑤ CL 親機、WSb 親機のアンテナは、垂直に立てて使用してください。
 ⑥ CL 子機、WSb 子機は、お使いになる前に充電してください。
 ※ CL 子機、WSb 子機：約 8 時間以上の充電で連続通話が約 8 時間できます。
 ⑦ 子機の充電を完全に行うために、次のことを守ってください。
 ・ WSb 充電器には WSb 子機、CL 子機以外は置かないこと。
 ・ CL 親機には同一製造番号の CL 子機以外は置かないこと。
 ・ CL 子機、WSb 子機を他の充電器に置かないこと。
 ⑧ CL 子機、WSb 子機の電池パックは、専用のものを使用してください。
 ⑨ CL 親機、WSb 親機の上に、物を載せないでください。
 ⑩ CL 親機、CL 子機、WSb 子機、WSb 充電器の充電端子を金属などでショートさせないでください。

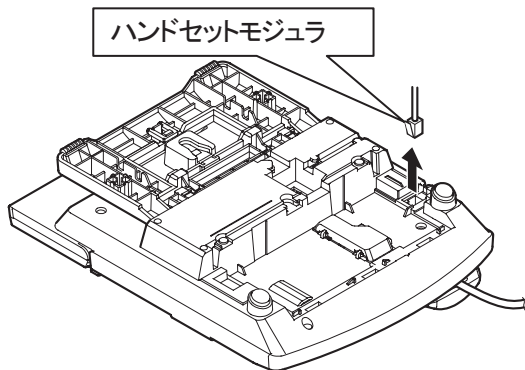
▶ (5) 無線に関する注意

- ① 電波を使用している CL 電話機、WSb 電話機の通話は、以下の技術により傍受されにくくなっておりませんが、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する可能性があります。この点について十分配慮して使用してください。機密が必要な通話は、有線の多機能電話機を使用することをおすすめします。
 ・ CL 電話機、WSb 電話機：デジタル信号
 ② 移動しながら使用するとき、位置や向きによって雑音が入ることがあります。
 ③ CL 電話機、WSb 電話機は、通常半径 100m (見通し距離) 以内で使用できますが、親機または接続装置と子機間に下記の障害物があると、通話中に雑音が入ったり、子機に「圏外」と表示され使えなくなることがあります。設置環境を確認のうえ、CL 親機、WSb 親機の設置場所を決めてください。
 ・ 金属製のドア
 ・ アルミはく入りの断熱材が入っている壁
 ・ コンクリートやトタン製の壁
 ④ 同一室内で無線 LAN、電子レンジなどを使用している場合、通話中に雑音が入ることがあります。

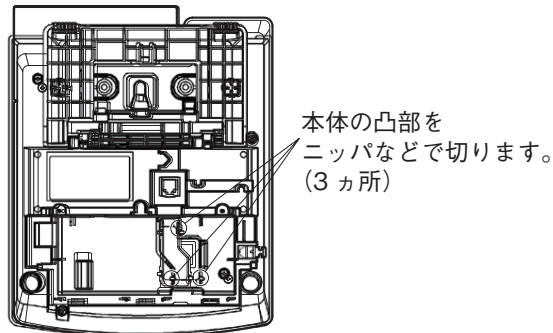
3 電話機の工事

▶ (1) 停電ユニットの取り付け方法【TD710、TD720 専用】

1. ハンドセットを矢印の方向に取り外します。

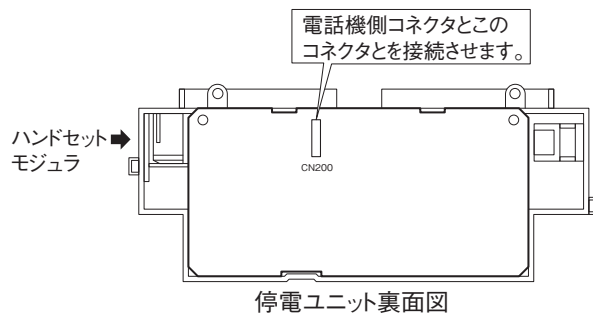
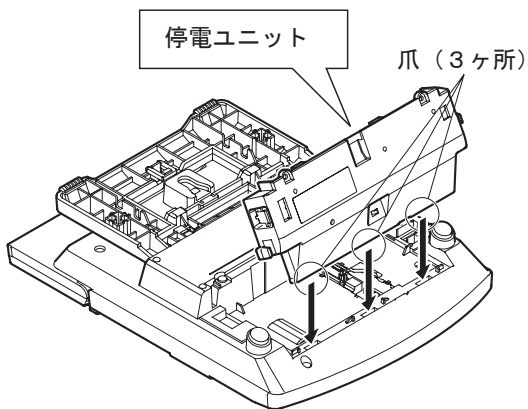


2. カバーを切り取り、多機能電話機側コネクタ (CN8) を露出させます。

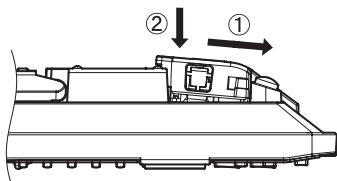


3. 停電ユニットを接続します。

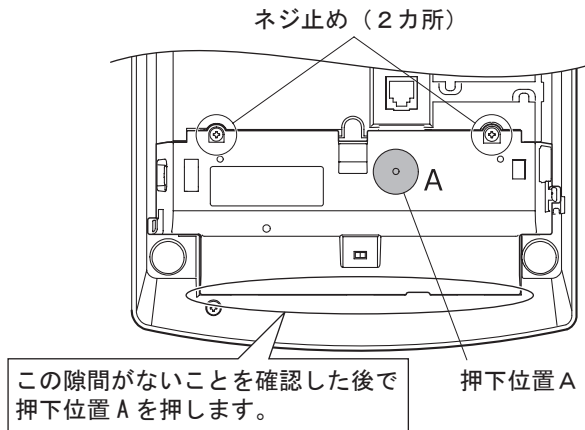
3-1 停電ユニットの下部の爪を本体に合わせ引っ掛けます。



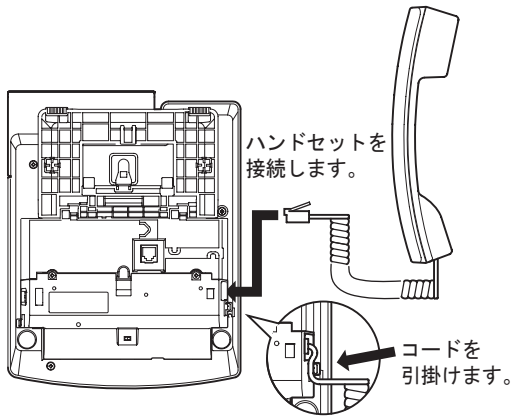
3-2 停電ユニットを下図位置までセットし、矢印①の方向へ押し付けながら矢印②の方向に取り付けます。



3-3 停電ユニット下部と本体に隙間がないことを確認後、下図の押下位置 A を押し、コネクタが確実に固定されていることを確認し、ネジ止め (2カ所) します。
(停電ユニットに添付のネジをご使用ください)



4. ハンドセットを接続します。



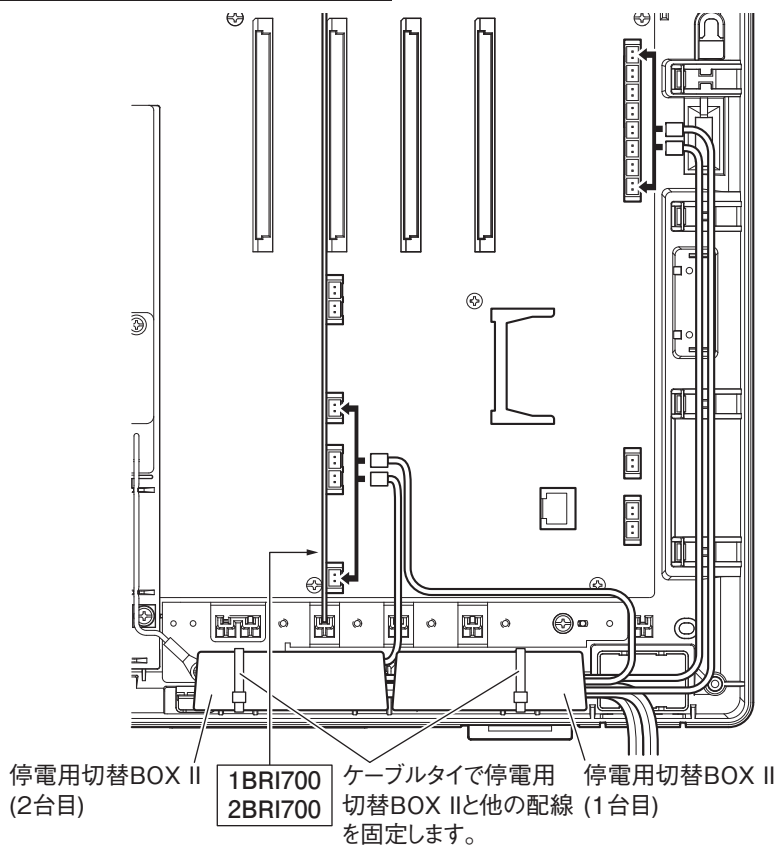
注意

- オプションの停電ユニットを電話機に取り付ける場合、必ずラインコードを抜いてから取り付けを行ってください。

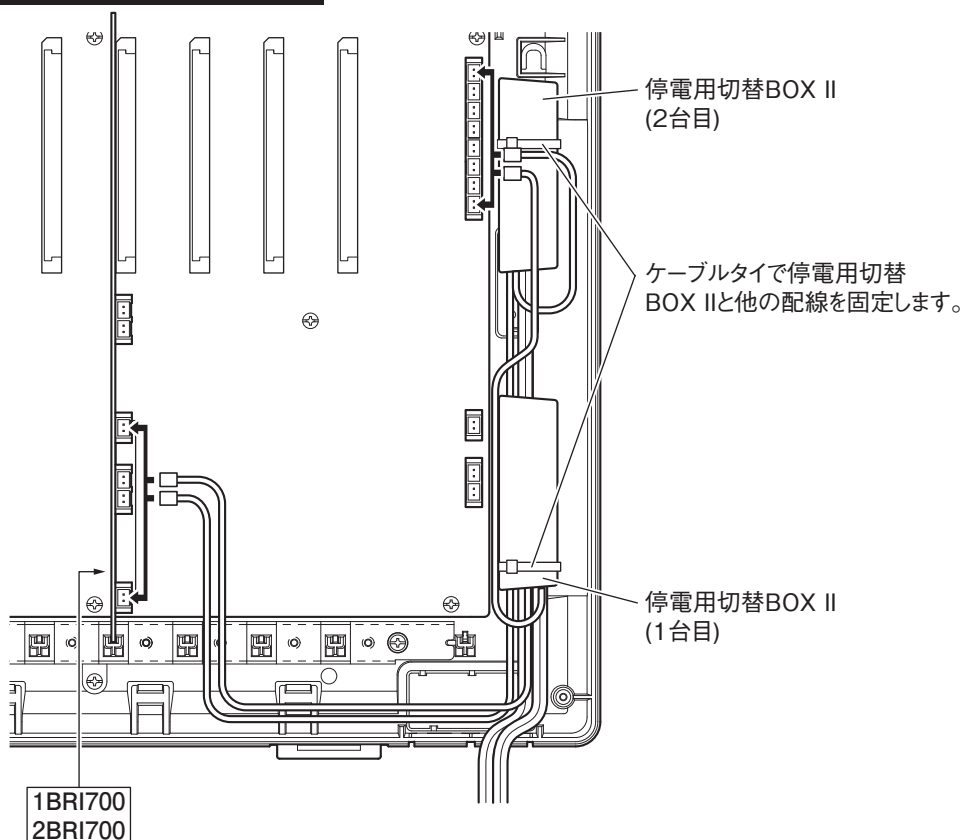
▶ (2) ISDN 停電用電話機 (停電ユニット I 装着電話機) の接続方法

● ISDN 停電用電話機 (2 台接続の場合)

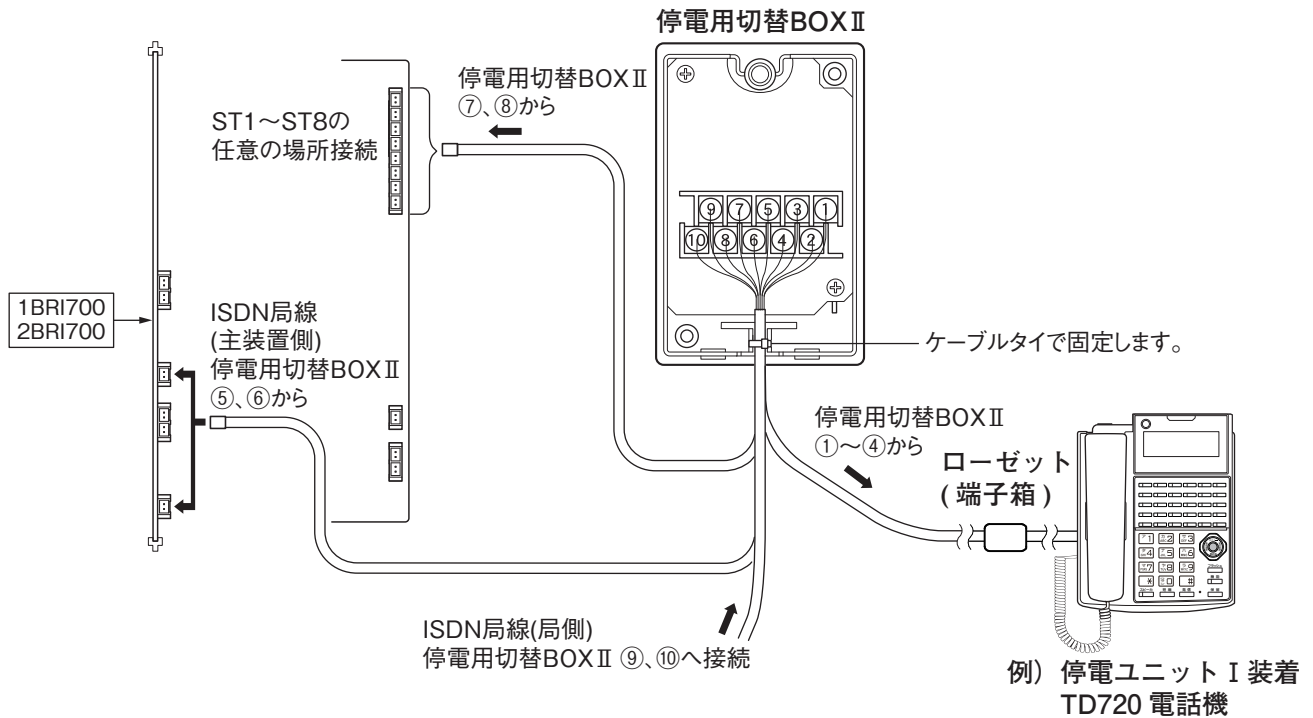
HM700Std の場合



HM700Pro の場合



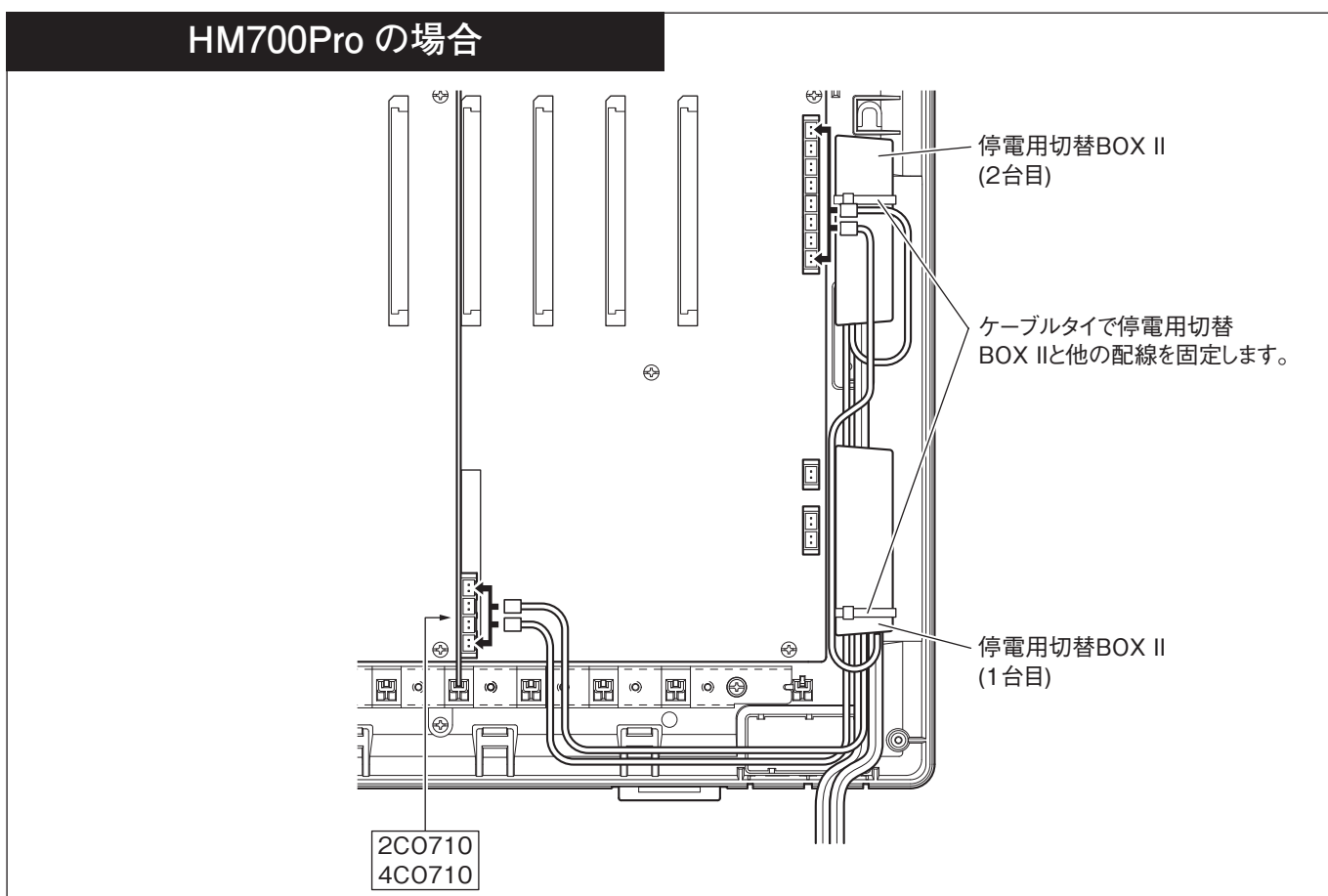
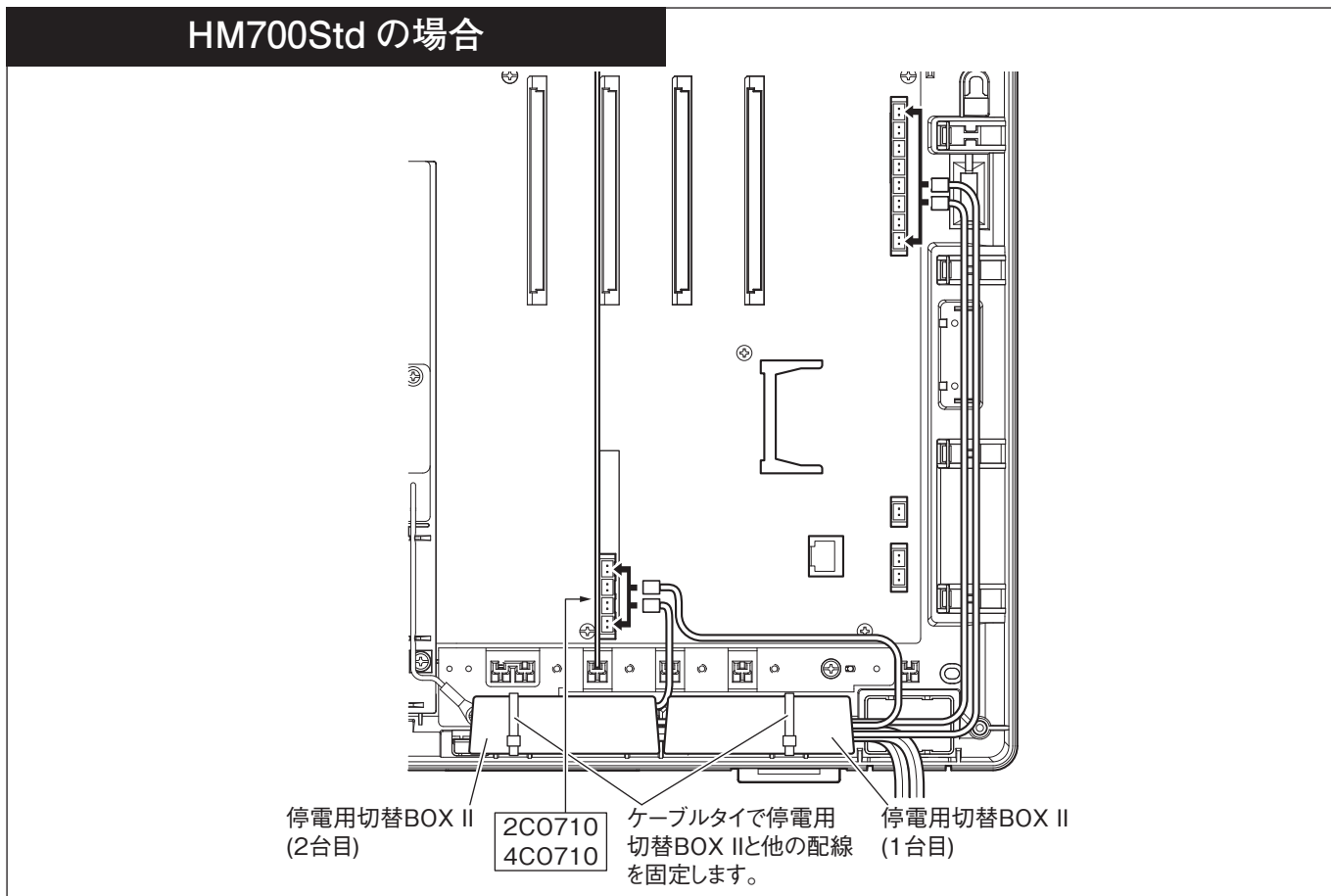
●停電用切替 BOX 配線図



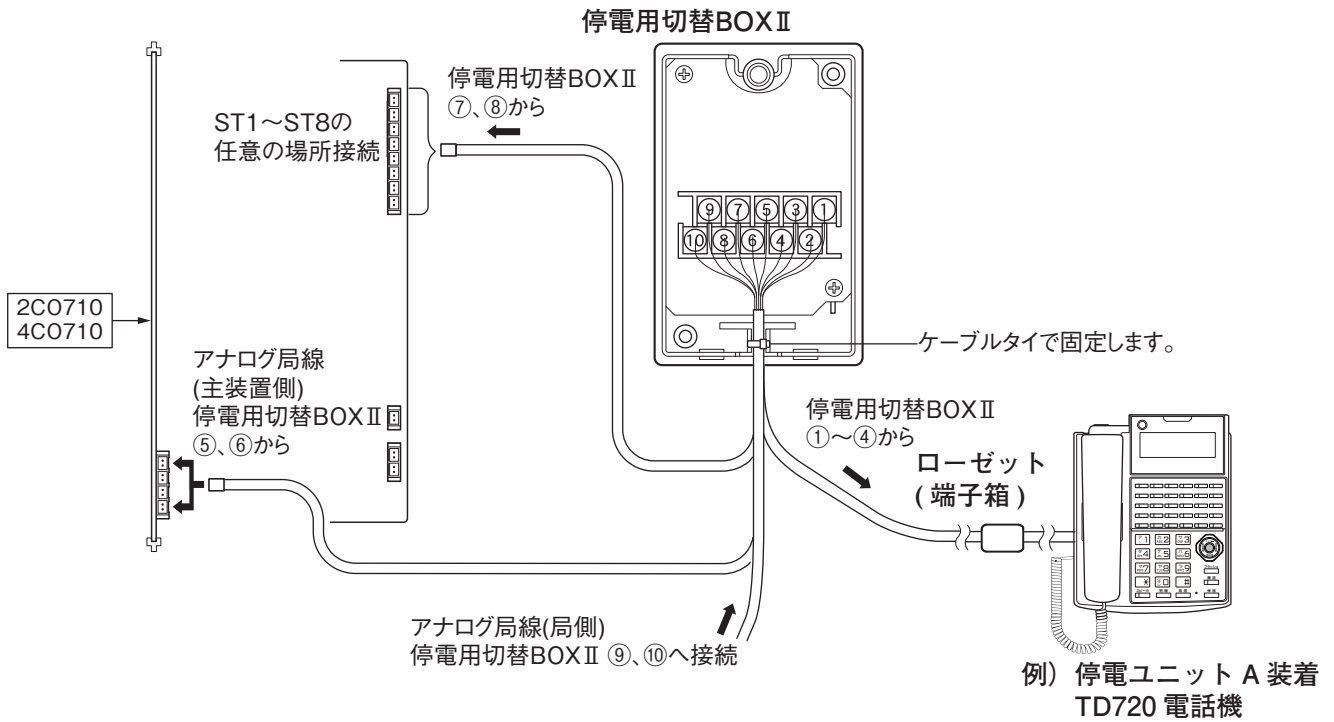
停電用切替 BOX II の端子番号	停電用切替 BOX II からの接続先	
①	L1	ISDN 停電用電話機ローゼット
②	L2	
③	L3	
④	L4	
⑤	1BRI700/2BRI700 のデジタル局線接続用端子 (DIGITAL)	
⑥		
⑦	初実装の専用電話機接続用端子 (ST1～ST8) 内線増設ユニットの専用電話機接続用端子 (ST9～ST32) ※ HM700Pro のみ	
⑧		
⑨	ISDN 局線	
⑩		

▶ (3) アナログ停電用電話機（停電ユニット A 装着電話機）の接続方法

●アナログ停電用電話機（2台接続の場合）

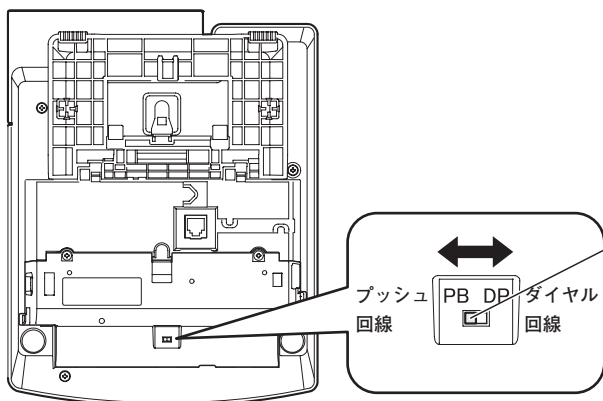


●停電用切替 BOX 配線図



停電用切替 BOX II の端子番号	停電用切替 BOX II からの接続先	
①	L1	アナログ停電用電話機ローゼット
②	L2	
③	L3	
④	L4	
⑤	2C0710/4C0710 のアナログ局線接続用端子	
⑥		
⑦	初実装の専用電話機接続用端子 (ST1 ~ ST8)	
⑧	内線増設ユニットの専用電話機接続用端子 (ST9 ~ ST32) ※ HM700Pro のみ	
⑨	アナログ局線	
⑩		

●アナログ停電用電話機



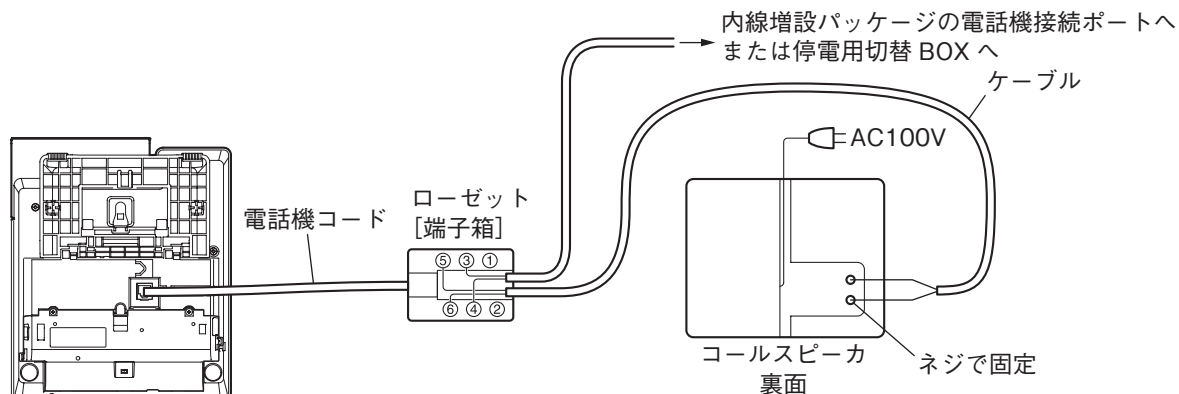
DP (20PPS) / PB 切替スイッチ
 電話回線に合わせてダイヤル回線 (DP) またはプッシュ回線 (PB) に設定します。停電用電話機として使用する場合、正しく設定しないと停電中にダイヤルできません。
 ・初期は「PB」です。

▶ (4) コールスピーカの接続方法

コールスピーカ (BS-191) を使用します。

■ 多機能電話機、カールコードレス電話機 (CL) の場合

- ・コールスピーカを下図のように接続します。



例) 多機能電話機

※ コールスピーカ使用時には、ツイストペアのラインコード (モジュラコード) を推奨します。

- 端子箱とコールスピーカの端子接続を示します。

端子箱	接続先	
	通常時	停電ユニット装着時
①	未使用	停電用切替 BOX II の①端子
②	未使用	停電用切替 BOX II の②端子
③	内線増設パッケージの 電話機接続ポート	停電用切替 BOX II の③端子
④		停電用切替 BOX II の④端子
⑤	コールスピーカの L1 端子	
⑥	コールスピーカの L2 端子	

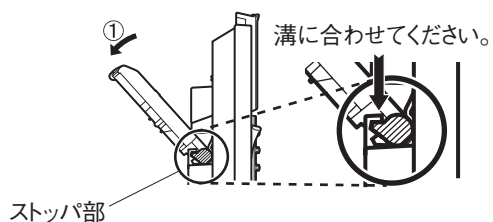
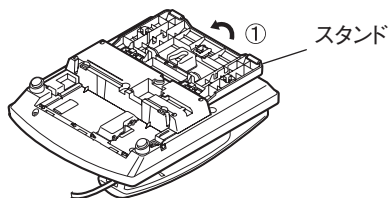
- ・配線に注意してください。

▶ (5) 電話機の角度調整方法

高角度スタンドの軸をベースの溝に入れて、2段階に角度調節ができます。

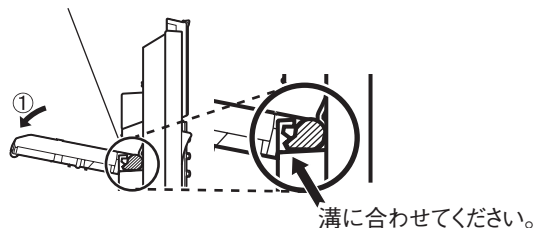
■ 多機能電話機 (TD710、TD720)、カールコードレス電話機 (CL) の場合

1. スタンドの角度を合わせます。



低角度スタンド位置

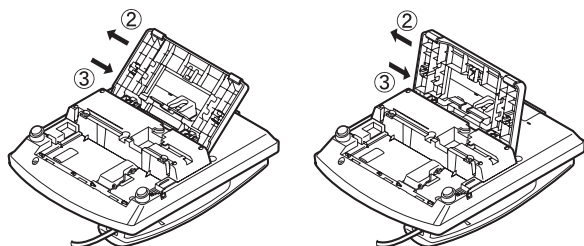
指を挟まないようご注意ください。



高角度スタンド位置

● ご使用状況に合わせ、スタンドを①の方向に引き上げ、ストップ部を上図の位置に合わせます。
(無理に引き上げると破損する恐れがあります。)

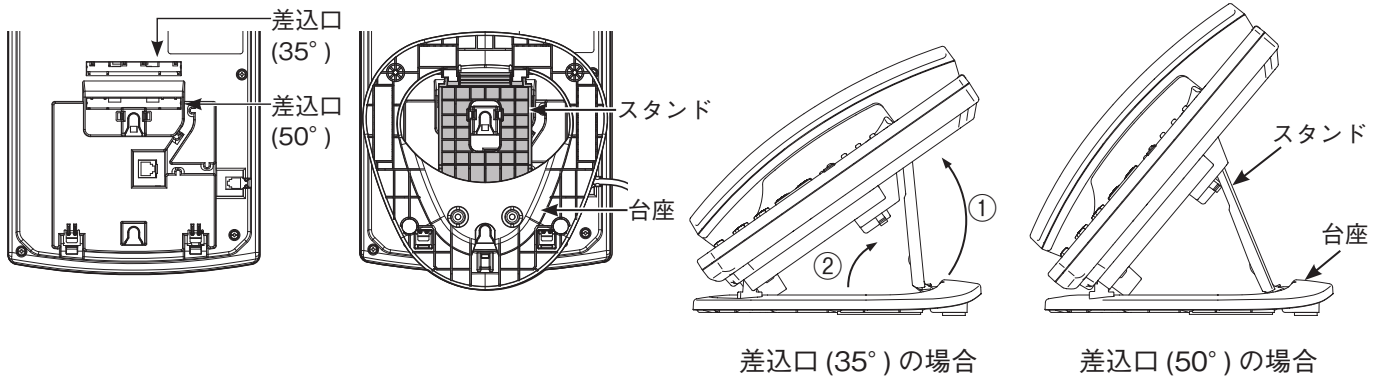
2. スタンドを固定します。



● スタンドを②の方向にスライドさせ、固定します。
スタンドを戻すときは、スタンドを③の方向にスライドさせて引き上げます。

■ 多機能電話機 (TD618) の場合

電話機の設置角度を2段階で調節することができます。
裏面のスタンドを使って下図のように角度を変えます。



<手順>

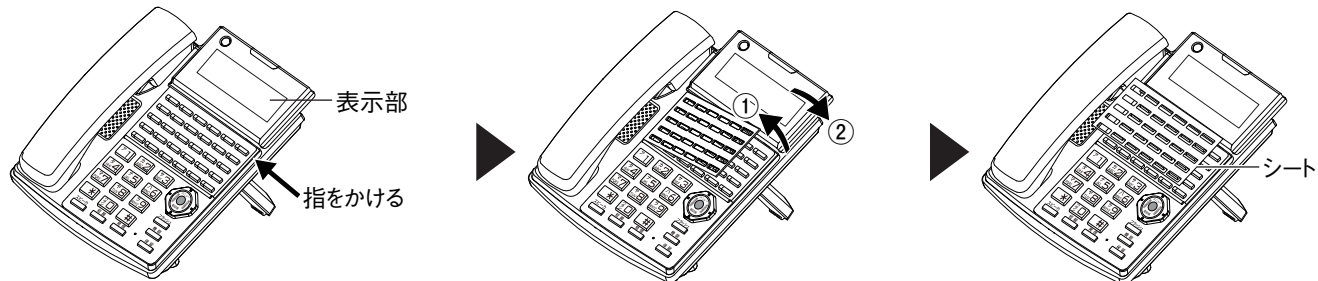
1. 台座を押さえ電話機本体を①の方向に引き上げます。
2. スタンドを②の方向に引き上げます。
3. スタンドを差込口 (35°または 50°) にカチッ音がするまで差し込みます。

▶ (6) 電話機のパネルとシートの交換方法

■ 多機能電話機 (TD710、TD720)、カールコードレス電話機 (CL) の場合

取り外し方法

1. 表示部の角度は現状のままにして、操作パネルのツメに指をかけます。
2. 操作パネルを①の方向に持ち上げて
3. シートを取り外します。



取り付け方法

- 操作パネルとシートを取り付けるときは「手順3でシートをかぶせます」→「手順2で操作パネルを②の方向に倒します」→「カチッ音がするまで押さえます」

■ 多機能電話機 (TD618) の場合

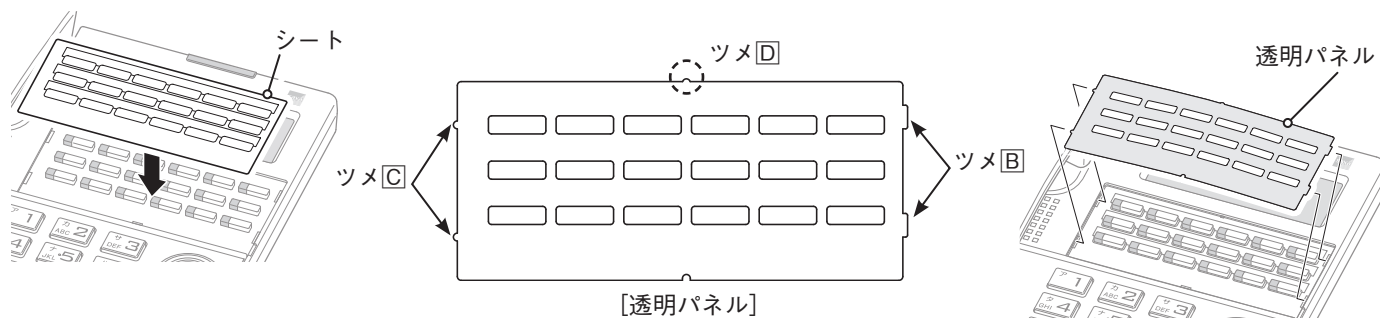
取り外し方法

1. 透明パネルの切り欠き A に先のとがった棒などで、①の方向に持ち上げて取り外します。
2. シートを②の方向にたわませながら取り外します。



取り付け方法

1. シートを入れます。
2. 透明パネルのツメ B → C → D の手順ではめ込みます。
※ ツメ D をはめ込むとき、カチッ音がするまで押し込みます。



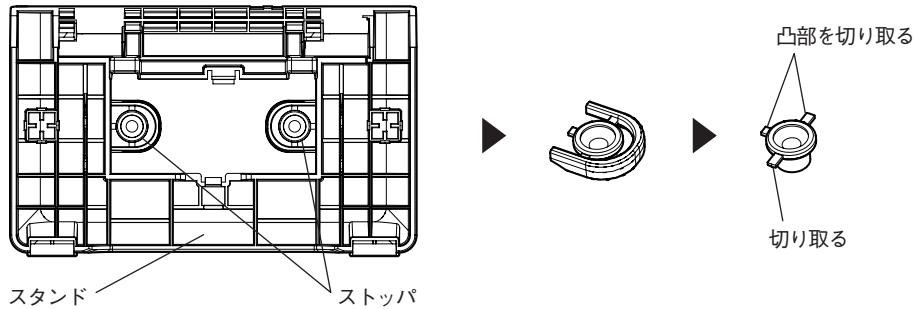
4

電話機の壁掛取り付け方法

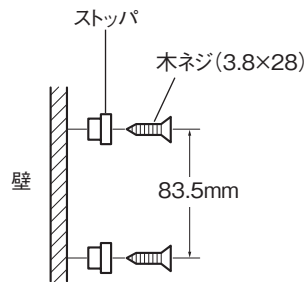
▶ (1) 多機能電話機 (TD710、TD720)、カールコードレス電話機 (CL)

- ※ 主装置の付属品「データシート」内にある「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。
- ※ 土壁、ボード、薄い合板などへの取り付けは、電話機が落下しやすいので注意してください。地震、長期間にわたる振動などの揺れによる落下の原因となります。
- ※ 設置条件を満たさない場合は、壁に設置しないでください。

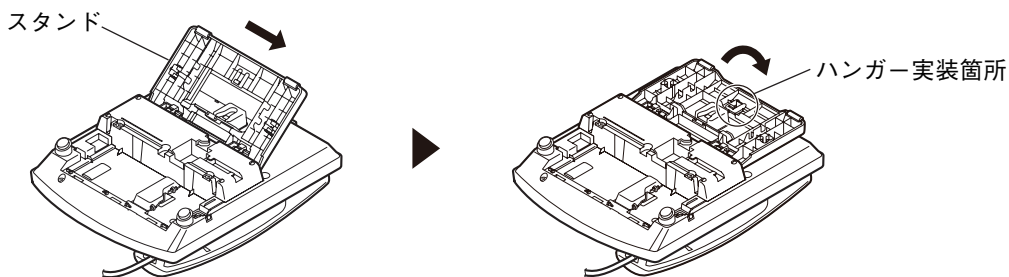
1. ニッパなどでストップとスタンドを切り離します。
※ 切り残しがありますと怪我をする可能性がありますのでご注意ください。



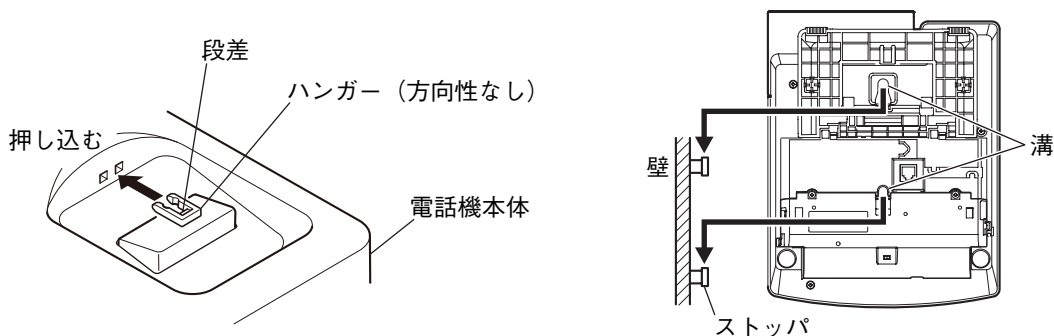
2. ストップ2個を主装置に添付の木ネジ (3.8×28) 2本で壁に固定します。



3. スタンドを折りたたみ、ハンガーを取り外してください。



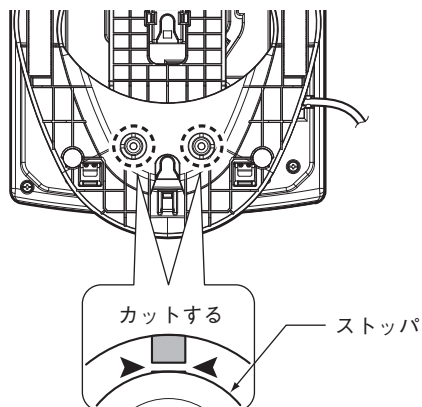
4. ハンガーを矢印の方向へ押し込みます。
※ ハンガーを外すときは、ハンガーの段差に ⊖ドライバーを差し込み、外してください。
5. 電話機本体の溝をストップに沿って引き下げます。
※ 電話機を外すときは、電話機を引き上げます。



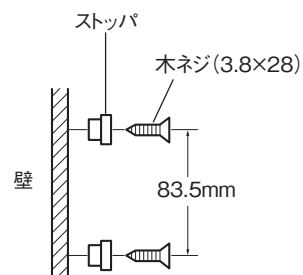
▶ (2) 多機能電話機 (TD618)

- ※ 主装置に付属の「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。
- ※ 電話機には壁掛用の木ネジは付属していません。
主装置に添付の木ネジ (3.8 × 28) などを利用してください。
- ※ 土壁、ボードなどへの取り付けは、電話機が落下しやすいので注意してください。

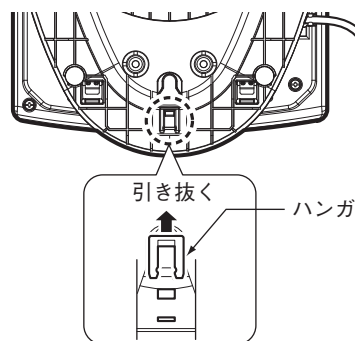
1. スタンドからニッパなどで、ストッパを切り取ります。



2. 壁にストッパと主装置に添付の木ネジ2本を壁に取り付けます。

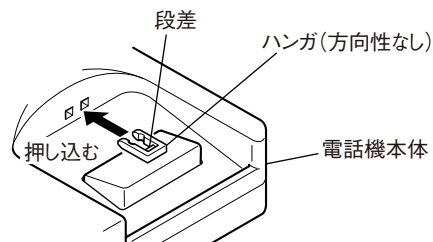


3. ハンガを台座から引き抜きます。

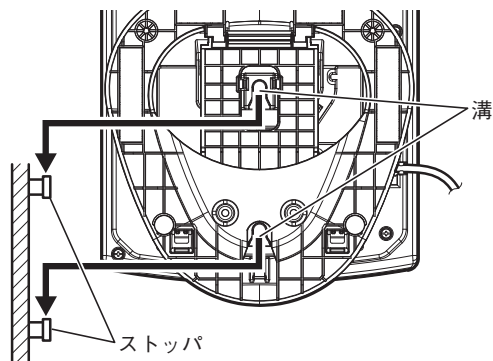


4. ハンガを矢印の方向へ押し込みます。

- ※ ハンガを外すときは、ハンガの段差に ⊖ ドライバを差し込み、外してください。



5. 電話機本体の溝をストッパに沿って引き下げます。
※ 電話機を外すときは、電話機を引き上げます。



▶ (3) Bluetooth コードレス電話機 (WSb) 親機

1. 付属のストッパ2個を木ネジ2本で壁に固定します。

※ 主装置の付属品「データシート」内にある「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。

※ 土壁、ボード、薄い合板などへの取り付けは、電話機が落下しやすいので注意してください。地震、長期間にわたる振動などの揺れによる落下の原因となります。

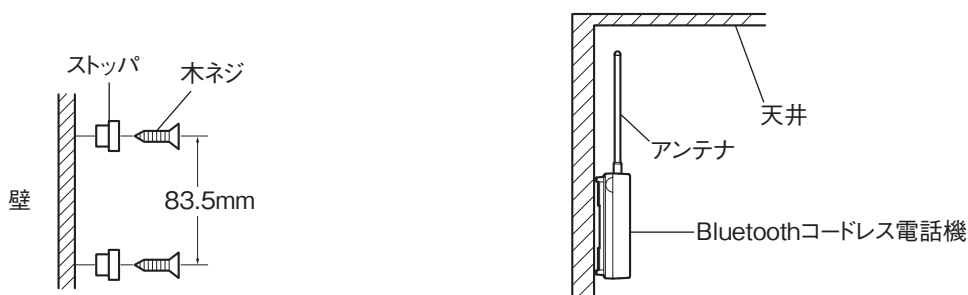
※ 設置条件を満たさない場合は、壁に設置しないでください。

※ 電波を反射するような鉄、ステンレスなどの金属面には設置しないでください。

※ アンテナを立てた状態で天井などに当たらない位置に設置してください。

※ Bluetooth コードレス電話機 (WSb) 電話機には壁掛け用の木ネジは付属していません。

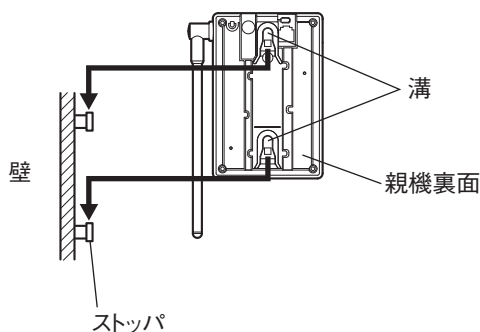
木ネジ (3.8 × 28) などを利用してください。



2. Bluetooth コードレス電話機 (WSb) 親機裏面の溝をストッパにはめ込み、引き下げます。

※ アンテナの向きにより雑音が入る場合があります。その場合は、アンテナの向きを変えてください。

※ 取り外す場合は、親機を引き上げます。



▶ (4) Bluetooth コードレス電話機 (WSb) 充電器

1. 付属のストッパ2個を木ネジ2本で壁に固定します。

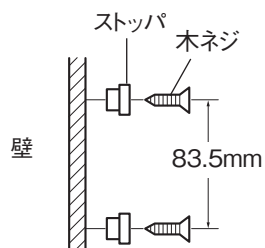
※ 主装置の付属品「データシート」内にある「壁掛取付用紙」を使用して取り付けてください。

※ 土壁、ボード、薄い合板などへの取り付けは、電話機が落下しやすいので注意してください。地震、長期間にわたる振動などの揺れによる落下の原因となります。

※ 設置条件を満たさない場合は、壁に設置しないでください

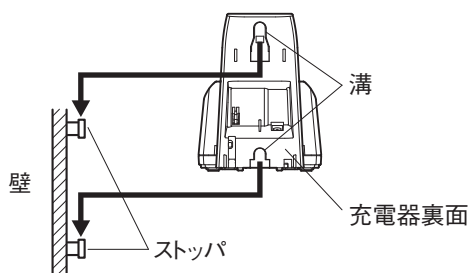
※ Bluetooth コードレス電話機 (WSb) 電話機には壁掛け用の木ネジは付属していません。

木ネジ (3.8 × 28) などを利用してください。



2. 充電器の溝をストッパにはめ込み、引き下げます。

※ 充電器を取り外す場合は、充電器を引き上げます。



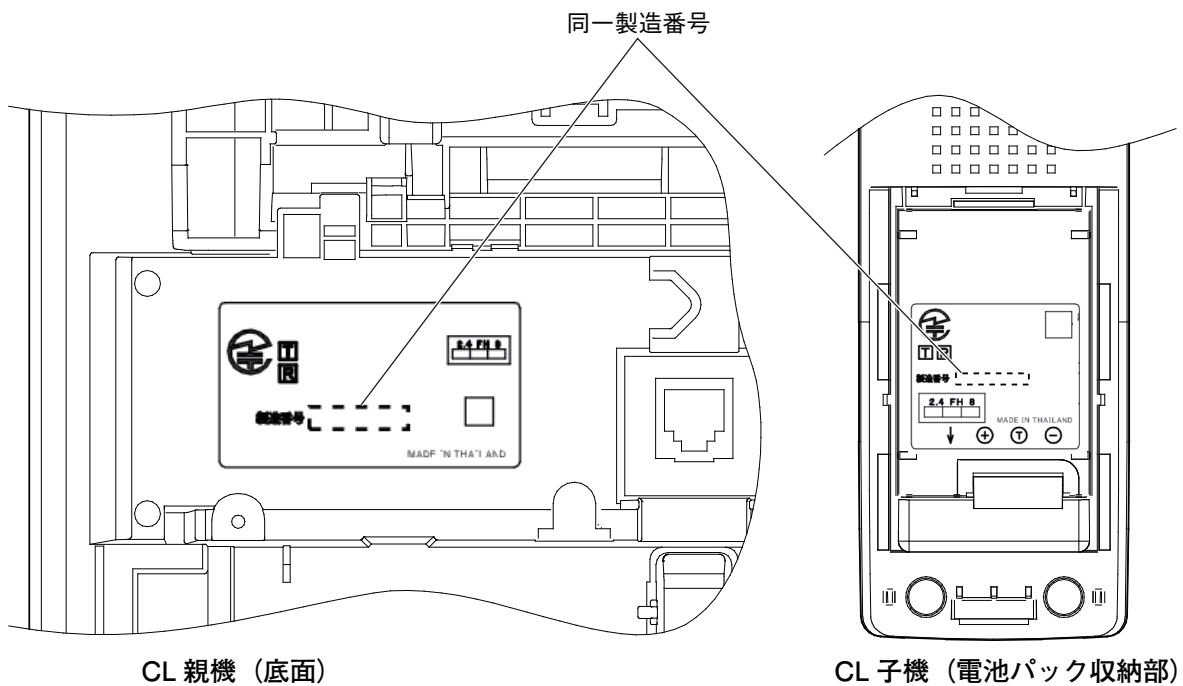
5 カールコードレス電話機 (CL) の接続

- CL 電話機は、親機と子機の構成です。
- CL 電話機は、主装置上の電話機接続用端子板に接続された電話機コードを、親機に接続するだけで使用できます。
- 誤動作防止機能が動作時は、解除操作を行ってください。
- CL 電話機をご購入後、初めてお使いになるときは、電池パックを CL 子機にはめ込み、CL 親機または WSb 充電器で約 8 時間以上充電してください。
※電池パックは付属品です。
- Std 主装置の場合、CL 電話機は最大 4 台まで接続できます。(WSb 電話機と合わせて 8 台まで)
- Pro 主装置の場合、CL 電話機は WSb 電話機と組み合わせて最大 8 台まで接続できます。
- CL 子機を別の CL 親機に置くと、注意音「ピッ」が 2 秒間隔でなりますが故障ではありません。CL 子機を同一製造番号の CL 親機に置いてください。

電話機コードを接続する前に

- ▶ CL 親機と CL 子機の組み合わせは、下図のように製造番号が同じものを必ず使用してください。

同梱の CL 親機と CL 子機は、製造番号が同じです

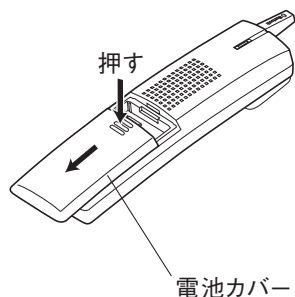


お願い

CL 子機の電池残量が少ない場合、要充電警報音「プープー (10 秒毎)」が鳴り使用できません。この場合は、CL 親機、または WSb 充電器に置いて充電するか、充電されている他の CL 子機、または WSb 子機の電池と交換して発着信の確認を行ってください。

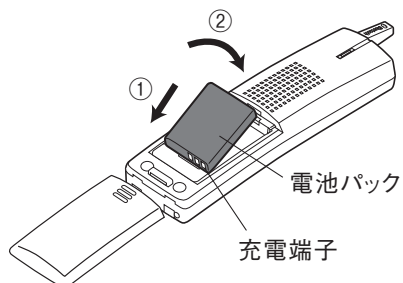
電池パックの取り付けかた

1. CL 子機の電池カバーを押し
ながらスライドさせて電池
カバーを取り外します。

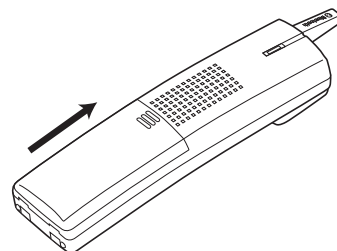


2. 電池パックのラベル面を上にして、
①方向に差し込みながら②方向には
めこみます。

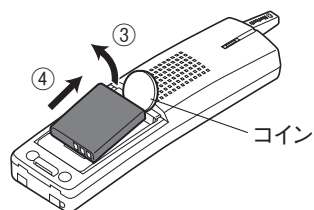
※ CL 子機と電池パックの充電端子が
接触します。



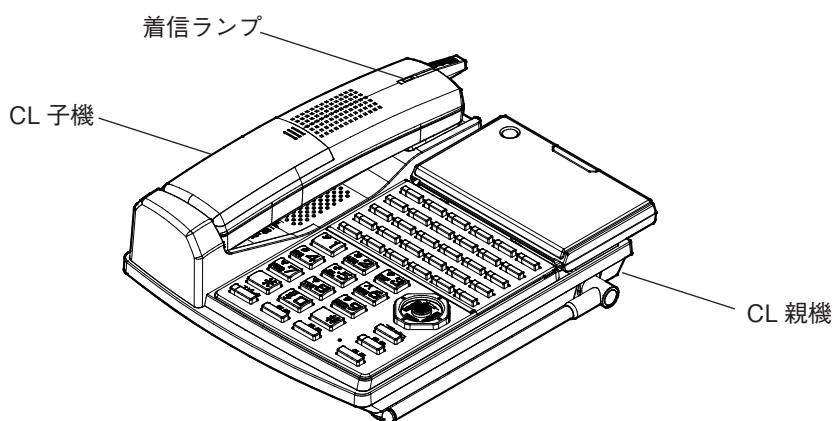
3. 「カチッ」音がするまで
電池カバーを押し込みます。



※ 電池パックを取り外すときは電池パックを③方向にコインで持ち上げながら、④方向に取り外します。
(下図参照)



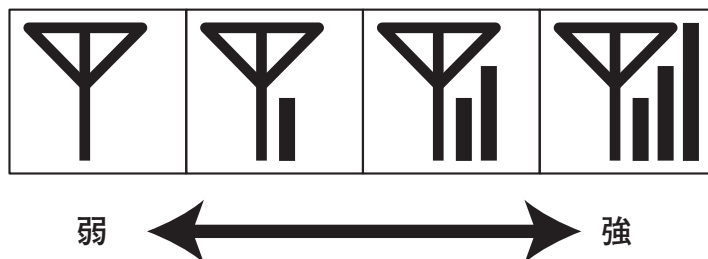
充電のしかた



- CL 子機を充電する場合には、ダイヤル面を裏にして CL 親機に置いてください。
- CL 子機を親機に置いている時、CL 子機充電中は着信ランプが赤点灯します。
- 満充電になると CL 子機の着信ランプは緑点灯に変わります。

電波強度

CL 子機は、CL 親機からの電波状態を 4 段階で表します。
※電話をかける前に電波の強さを確認してください。



(強)…………… 受信状態が良好です。

(弱)…………… 電話がかかりにくくなったり、通話が切れることがあります。
(電波状態の良い場所へ移動してください)

(圏外)…………… 電話をかけることも受けることもできません。

※ 圏外に近づくと、警報音「ピーピーピー・・・」が鳴り、圏外ピクトが点滅します。
圏外にでると、圏外ピクトが点灯し、通話が切れます。

電話機の工事設定

次の場合は CL 子機で RF 制御設定をしてください。

- ・電波干渉により CL 電話機にノイズが入る場合
- ・CL 子機待機中に省電力モードで使用する場合

(1) 電波干渉により CL 電話機にノイズが入る場合 (AFH 使用 CH 設定)

無線 LAN や他の Bluetooth 利用機器を使用の場合、電波干渉により CL 電話機にノイズが入るときには、以下のように使用チャンネルを分割することができます。

1. CL 子機で、**通話** と **確定** ボタンを同時に押しながら、電池パックをはめ込みます。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

2. **確定** ボタンを押します。(初期値 : 0-78CH)

◇ AFH 使用 CH 設定
[0-78CH]

表示例

3. **ダイヤル** ボタンを操作し、AFH 使用 CH を選択します。

【分割上位チャンネル選択時】 : [0-39CH]
【分割下位チャンネル選択時】 : [40-78CH]

◇ AFH 使用 CH 設定
[0-39CH]

4. **確定** ボタンを押し、AFH 使用 CH を決定します。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

5. 本設定モードを抜ける場合には、電池パックを取り外し、再度、電池パックをはめ込むことで運用モードに切り換えます。

(2) CL 子機待機中に省電力モードで使用する場合 (SNIFF 設定)

1. CL 子機で、**通話** と **確定** ボタンを同時に押しながら、電池パックをはめ込みます。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

2. **電源** ボタンを押します。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

3. **確定** ボタンを押します。(初期値：無効)

◇ SNIFF 設定
[無効]
[有効]

4. **電源** ボタンを操作し、SNIFF 設定の [有効] を選択します。

◇ SNIFF 設定
[無効]
[有効]

5. **確定** ボタンを押し、SNIFF 設定を決定します。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

6. 本設定モードを抜ける場合には、電池パックを取り外し、再度、電池パックをはめ込むことで運用モードに切り換えます。

ご注意

- SNIFF 設定により、連続待機時間が以下の通りに異なります。
有効：約 48 時間
無効：約 24 時間
- SNIFF 設定を [有効] にした場合には、子機側の通話開始が遅れることがあります。

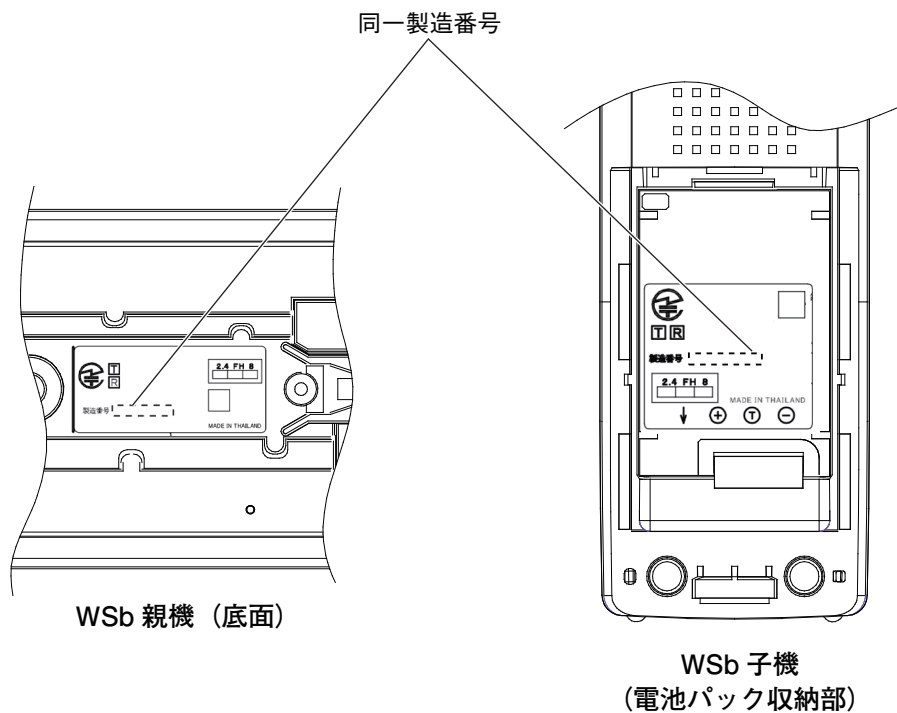
6 Bluetooth コードレス電話機 (WSb) の接続

- WSb 電話機は、親機と子機と充電器の構成です。
- WSb 電話機は、主装置上の電話機接続用端子板に接続された電話機コードを、WSb 親機に接続するだけで使用できます。
- 誤動作防止機能が動作時は、解除操作を行ってください。
- WSb 電話機をご購入後、初めてお使いになるときは、電池パックを WSb 子機にはめ込み、WSb 充電器で約 8 時間以上充電してください。
※電池パック、AC アダプタは付属品です。
- Std 主装置の場合、WSb 電話機は、最大 7 台まで接続できます。(CL 電話機と合わせて 8 台まで)
- Pro 主装置の場合、WSb 電話機は、CL 電話機と組み合わせて最大 8 台まで接続できます。

電話機コードを接続する前に

- ▶ WSb 親機と WSb 子機の組み合わせは、下図のように製造番号が同じものを必ず使用してください。

同梱の WSb 親機と WSb 子機は、製造番号が同じです

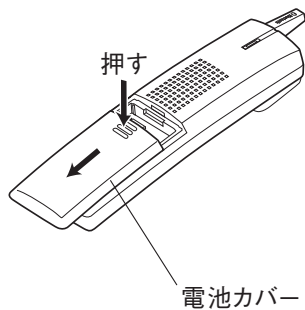


注意

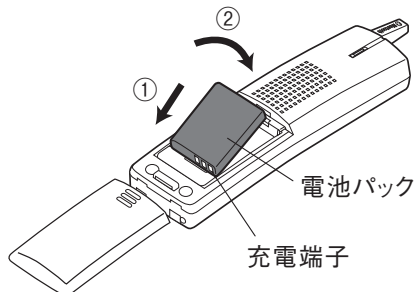
WSb 子機の電池残量が少ない場合、要充電警報音「プープー (10 秒毎)」が鳴り使用できません。
この場合は、WSb 充電器に置いて充電するか、または充電されている他の CL 子機、または WSb 子機の電池と交換して発着信の確認を行ってください。

電池パックの取り付けかた

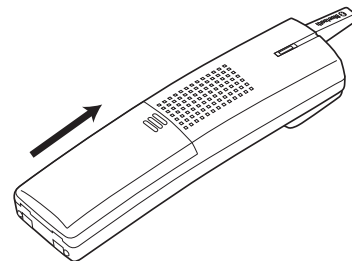
1. WSb 子機の電池カバーを押しなが
らスライドさせて電池カバーを
取り外します。



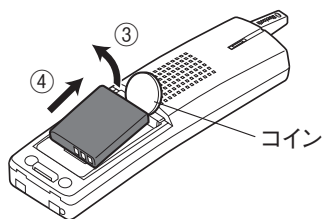
2. 電池パックのラベル面を上にして、
①方向に差し込みながら②方向には
めこみます。
※ WSb 子機と電池パックの充電端子が
接触します。



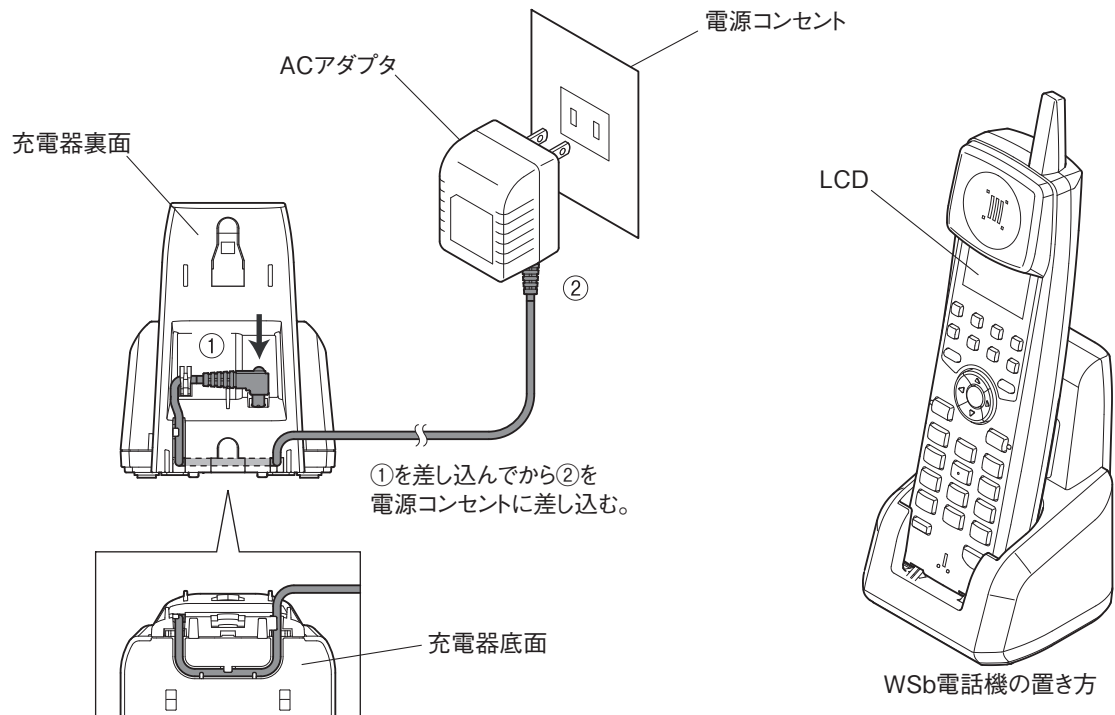
3. 「カチッ」音がするまで
電池カバーを押し込みます。



※ 電池パックを取り外すときは電池パックを③方向にコインで持ち上げながら、④方向に取り外します。
(下図参照)



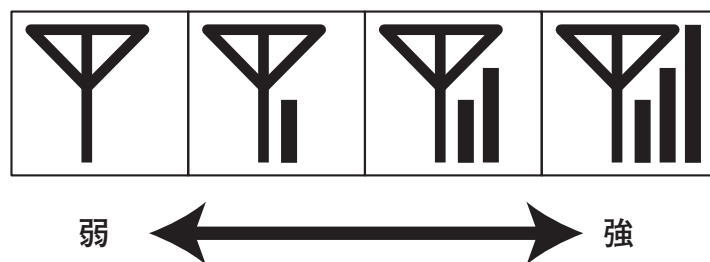
充電のしかた



- ・ WSb 子機を充電する場合には、ダイヤル面を表にして充電器に置いてください。
- ・ WSb 子機の充電中は、LCD に《充電中》を表示し、着信ランプが赤点灯します。
- ・ 満充電になると WSb 子機の LCD は《満充電》表示に切り替わり、着信ランプが緑点灯に変わります。

電波強度

WSb 子機は、WSb 親機からの電波状態を 4 段階で表します。
 ※電話をかける前に電波の強さを確認してください。



- (強)…………… 受信状態が良好です。
 - (弱)…………… 電話がかかりにくくなったり、通話が切れることがあります。
 (電波状態の良い場所へ移動してください)
 - (圏外)…………… 電話をかけることも受けることもできません。
- ※ 圏外に近づくと、警報音「ピーピーピー・・・」が鳴り、圏外ピクトが点滅します。
 圏外にでると、圏外ピクトが点灯し、通話が切れます。

電話機の工事設定

次の場合は WSb 子機で RF 制御設定をしてください。

- ・ 電波干渉により WSb 電話機にノイズが入る場合
- ・ WSb 子機待機中に省電力モードで使用する場合

(1) 電波干渉により WSb 電話機にノイズが入る場合 (AFH 使用 CH 設定)

無線 LAN や他の Bluetooth 利用機器を使用の場合、電波干渉により WSb 電話機にノイズが入るときには、以下のように使用チャンネルを分割することができます。

1. WSb 子機で、**通話** と **確定** ボタンを同時に押しながら、電池パックをはめ込みます。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

2. **確定** ボタンを押します。(初期値 : 0-78CH)

◇ AFH 使用 CH 設定
[0-78CH]

3. **ダイヤル** ボタンを操作し、AFH 使用 CH を選択します。

【分割上位チャンネル選択時】 : [0-39CH]
【分割下位チャンネル選択時】 : [40-78CH]

表示例

◇ AFH 使用 CH 設定
[0-39CH]

4. **確定** ボタンを押し、AFH 使用 CH を決定します。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

5. 本設定モードを抜ける場合には、電池パックを取り外し、再度、電池パックをはめ込むことで運用モードに切り換えます。

(2) WSb 子機待機中に省電力モードで使用する場合 (SNIFF 設定)

1. WSb 子機で、**通話** と **確定** ボタンを同時に押しながら、電池パックをはめ込みます。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

2. **確定** ボタンを押します。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

3. **確定** ボタンを押します。(初期値：無効)

◇ SNIFF 設定
[無効]
[有効]

4. **確定** ボタンを操作し、SNIFF 設定の [有効] を選択します。

◇ SNIFF 設定
[無効]
[有効]

5. **確定** ボタンを押し、SNIFF 設定を決定します。

◇ RF 制御設定
1 : AFH 使用 CH
2 : SNIFF 設定

6. 本設定モードを抜ける場合には、電池パックを取り外し、再度、電池パックをはめ込むことで運用モードに切り替えます。

ご注意

1. SNIFF 設定により、連続待機時間が以下の通りに異なります。
有効：約 48 時間
無効：約 24 時間
2. SNIFF 設定を [有効] にした場合には、子機側の通話開始が遅れることがあります。

